

ファッションで浜松の街へ旅立とう!



肴町のレディースブティック「Sun Marry」オーナー。Sun Marryは、お客様は3歳から100歳、取扱ブランドは50以上という幅広いバリエーションを持つセレクトブティック。おしゃれのお手伝いで、関わるすべての女性をより素敵にして、最高の笑顔を引き出したい!と日々奮闘中。

HP <http://www.sunmarry.com/>
ブログ「さんまり日記」

<http://sunmarry.hamazo.tv/>

佐々木まり子

最近、店のブログ「さんまり日記」の年内リニューアルに向けて、毎晩作業をしています。

私の店 ブティックサンマリーは、実は今年で創業60年! 節目となる今年のプログリニューアルには、思い入れやこだわりをブログに盛り込もう!とパソコンに向かい、サンマリーの「ストーリー(由来やストーリー)」を紐解いております。

店の前身は、浜松・田町の一角にできたニットオーダーショップ「羊屋(ひつじや)」。戦後の復興に湧く昭和28年、私の祖母・きよみが「どんな時代にも、女性にはオシャレを!」との想いで得意だった編み物の店を開いたのが始まりです。

やがてオーダーから既製服へのファッションの歴史に合わせて、既成服のブティックとして母・敬子がリニューアル。この私の母(現役!)がまた働き者で、いつもシャネルスーツで慌ただしく家の台所と店を行ったり来たりしていたのが、私の幼い頃の記憶にいる母の姿です。

羊屋の末娘として生まれた私の、幼い頃からの遊び場は、ショーウィンドーに更衣室にカウンター…毎日色とりどりの毛糸と洋服たちと、女性たちの笑い声とワクワクした気持ちに囲まれて育った私は、いつしか将来の夢は「ひつじやさん」になっておりました。

そして17年前。店名も改め、私に受け継がれていったのが今のサンマリー。店名の由来はお祭りの通り…サントリーが鳥居サン(私)の会社であるように、マリーサン(私)の店だから、です!

そしてもう一つ、文学少女だった私が大好きな言葉、明治時代の女性解放運動家で作家であった、平塚らいてうの一文から…。

「元始、女性は実に太陽であった。」

そう、女性は社会の、そして家庭の「太陽」です。太陽がいつも笑顔で、温かな光を周りに注げば、家庭は平和に満たされ、社会に出ていく男性や子供も輝く事ができます。女性が社会に出る平成の今は尚更です。

「Sun(太陽)+Marry(マリー)」に関わる女性が皆、それぞれの家庭・社会の「太陽」で居られるお手伝いをしたい、という想い。そしてファッションを通じて、私は目の前の女性を笑顔にし、浜松の街を輝く女性で一杯にする事が、私の社会貢献であると思っています。

あらためて、自分の「ストーリー」を確認する、そして日々アップデートしてゆくと、それだけで、毎日が実の詰まった果実のように、ずっしりと食べ応えのある物になっていくようです。

さて、来る12月21日、この60周年を記念してちょっとしたお祝いのパーティを開くこととなりました。参加される方が皆笑顔になるような、楽しいパーティにしたい、とスタッフとみんなですべて準備を進めております…どうぞお楽しみに♪

サンマリーが今までの60年に加え、61年目からの新たなストーリーを紡げるように、そして、あなたが太陽となるお手伝い出来るように、どうぞこれからもよろしく願いいたします。